



宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 復興支援ニュース Vol.8



石綿（アスベスト）予防講習会を開催しました



【講習会の様子】

石巻保健所では、石綿（アスベスト）の周辺環境への飛散状況等の監視を行っており、管内沿岸部においてパトロールや解体工事などの際に放置された石綿含有廃棄物等の回収等を行っています。今後復興に向けて解体工事が本格化することから石綿の周辺環境への飛散を一層防止し、作業する方々の安全確保を目的として、2月10日、

石綿予防講習会を開催しました。

講習会には、建設関係の事業者や作業員など約100名が参加しました。当所職員が石綿に関する法令や県内の状況の説明を行うとともに、埼玉県環境科学国際センターや（社）日本保安用品協会の講師から、石綿の基礎知識と石綿簡易判定手法、防じんマスクの正しい着脱方法を講習しました。参加者はアクリルケースに収められた石綿を含有するサンプルを実際に確認したり、防じんマスクの密着（気密）度等のテストを通し、知識やマスクの装着方法を習得しました。

石巻保健所では3月にも石綿含有廃棄物等の回収作業を予定しており、今後も関係機関と協力して石綿の飛散防止対策に努めていきます。



■ 石綿予防講習会の様子 ■



【防じんマスクの着脱の練習の様子】



【石綿含有サンプル確認の様子】

感染症研修会を開催しました



【研修会の様子】

昨年からインフルエンザや感染性胃腸炎が流行しています。感染症が発生した場合に適切な対応をし、感染を広めないことを目的に、石巻保健所では2月22日、

研修会を開催しました。研修会には、高齢者施設の職員約40名が参加しました。

感染症の基本や感染対策の講義を受け、その後、利用者がおう吐した場面を想定して吐物処理の演習を行いました。

演習後、参加者からは、「吐物は思ったより遠くまで飛ぶ」、「床を拭いたつもりでも拭き残しが多かった」等の感想がありました。



仮設住宅等で生活されている方の感染症対策として、感染予防パンフレットを配布しています。また、仮設集会所や保育所などに、「てあらいいん」シールも配布予定です。感染症予防のために手洗いを行いましょ！

また、当所のホームページには、「感染症かわら板」、「感染症週報」を掲載しています。こちらも是非ご覧ください。

■ 感染予防パンフレット ■



石巻赤十字病院仮設病棟開所

2月28日、石巻赤十字病院仮設病棟開所式が行われました。2階には50床のベッドのほかリハビリ室、1階には看護学校の図書室などもあります。仮設病棟は、主に石巻市立病院から派遣された医療スタッフが担当します。

飯沼一宇院長は、「震災後、多くの病院が被害を受け、住民の健康に影響を与える。常時入院は満床で救急患者の受け入れ等住民の要望に十分にこたえられない状況が続いた。これから地域に貢献したい。」とあいさつしました。



【開所式の様子】

3月1日から入院患者の受け入れが開始されました。

3月1日から入院患者の受け入れが開始されました。

応援職員紹介

今月は、下記の2名の職員が当事務所の応援に来ていますので、ご紹介します。



■東京都福祉保健局保健政策部

宮本謙一さん（医師）

昨年6月と8月に続き、今回で3回目の派遣となります。2月6日～3月2日の4週間、勤務させていただく予定です。前回と比べ、管内各地で復興への力強い歩みを感じられ、東部保健福祉事務所でも復興に向けた様々な取り組みが着実に進行していることを実感しました。

短い期間ですがよろしくお願ひいたします。

■新潟県村上地域振興局 清野晴美さん（保健師）

新潟県から3人目最後の派遣保健師となりました。荒海日本海とは違う穏やかで青く綺麗な冬の海は石巻の優しい住民性そのもののように感じました。新潟も水害・地震・大雪の繰り返しでまだまだ復興途中です。今自分に出来ることから取り組んでいきたいと想います。よろしくお願ひいたします。

問い合わせ先

宮城県東部保健福祉事務所
企画総務班 企画調整グループ
HP: <http://www.pref.miyagi.jp/et-hc/>
Tel: 0225-95-1416(代表)
Fax: 0225-94-8982



グリーンケア講演会

今回の大震災で、大きな悲しみに襲われている方への支援の一環として、“仙台グリーンケア研究会”（代表：仙台市立病院滑川医師）が、2月19日、講演会を開催しました。

滑川医師は、「つらい状況の中で希望の見えるきっかけ、生きていくための参考になればと思い開催を決めた。心の中で感じたことを持ち帰ってほしい。」とあいさつしました。講演では、講師から「一人では悲しみから抜け出せない。喪失感をもった人たちが集まり、悲しみの共有が深まるのが重要である。」などの話がありました。



【講演の様子】

りました。

※グリーンケア

大切な方を亡くし大きな悲しみに襲われている方に対する支援。

“がんばっぺ 石巻 国内外からのエール と地元の心意気！！”

～東日本大震災から 1年を経て～

東部保健福祉事務所

あの東日本大震災から1年。あつという間に過ぎ去ったというのが、実感ではないだろうか。多くの尊い人命とこれまで築き上げてきたすべての財産を一瞬にして奪い去ってしまったあの震災。でも、立ちすくむ私たちに生きる勇気と明日への希望を抱かせてくれたのは、国内外からの温かい支援の手ではなかっただろうか。

全国から数多くのエールが被災地に寄せられている。その中から心温まる励ましの応援メッセージの一部を紹介します。

**がんばろう日本 がんばろう東北 がんばろう宮城
がんばっぺ、福島。まけねど、宮城。がんばっぺし岩手
そして、がんばろう、日本。**

復興元年のことし。石巻市、東松島市、そして、女川町で震災復興計画を策定し、復興まちづくりに全力で取り組んでいます。

この復興ニュースでは、皆さんからのメッセージもこの誌面でご紹介したいと考えております。ぜひ、ご投稿していただければ、幸いです。

